

学校名	廿日市市立宮園小学校
校長名	芦谷正徳
所在地	広島県廿日市市宮園1丁目1 2
H P	http://ww5.enjoy.ne.jp/~miyazonosho/
学級数	13
タイプ	

1 研究の概要

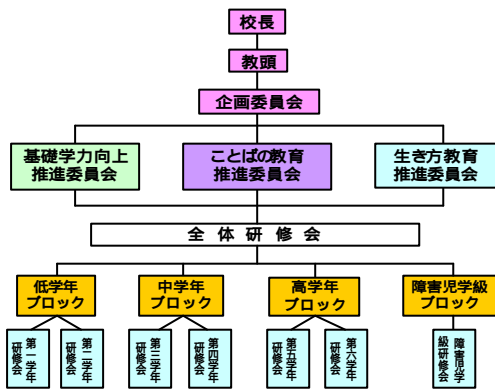
(1) 研究主題

自ら学び、考え、ともに高め合う子どもをめざして
言語技術の指導を基盤としたことばの教育の創造

(2) 研究のねらい

「言語技術」指導の視点を、授業のどの場面でのよう
に取り入れると、教科の内容の理解を深め、本時のねらいに迫
れ、より充実した学習となるのかを授業研究を通して明らか
にしていける。また、日常生活において、言語技術を用いて表
現できるような場や機会を工夫することにより、児童に生き
てはたらくことばの力をつけていく。

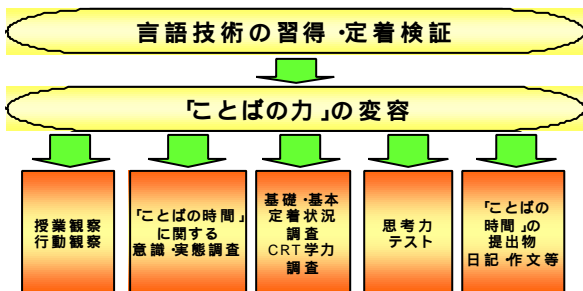
(3) 研究組織・体制



(4) 研究推進の視点

- ア 児童一人一人が生き生きと学び、伝え合うことにより、自
らの考えを高めていくような学習のあり方を工夫する。
- ・自ら意欲的に学ぼうとする課題設定の工夫
 - ・一人学習の場の設定及び個に応じた指導の工夫
 - ・言語技術の視点を取り入れた伝え合う場の工夫
 - ・自己の高まりを確かめるための振り返る場の工夫
- イ 「ことばの時間」における系統的な言語技術の指導内容、
方法、年間カリキュラム等の研究開発を行う。
- ウ 児童を取り巻く言語環境を整備する。

(5) 検証の方法



2 2年間の取組みの概要

H17年度は、「ことばの時間」において指導した「言語技
術」を、国語科の言語活動の指導を通して技能まで高め、総合
的な学習の時間等の実の場で活用する取組みを行った。H18
年度は、「ことばの時間」における系統的な指導内容を工夫する
とともに、各教科の中で「言語技術」指導を効果的に取り入れ
ながら、授業改善に取り組んだ。

(1) 「ことばの時間」の指導の実態

- ア 学年 第4～6学年
イ 活動名 写真の分析をしよう
ウ つけたい言語技術 「情報を的確に分析する技術」
エ つけたいことばの力

【情報を理解する力】

対象を分析的に受け止め、論理的に表現することができる。

【考えを伝える力】

自分の考えを客観的、具体的な理由（根拠）に基づいて述べ
たり、討論したりすることができる。

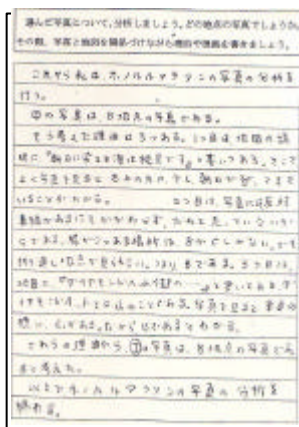
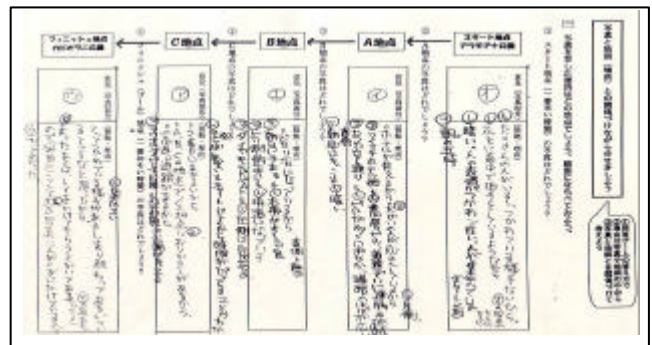
オ 目標

- ・自分の考えや意見を整理し、根拠や理由を明確にした論理的な話し方ができる。
- ・客観的な根拠や理由に基づいて、自分の考えや意見を書くことができる。

カ 指導計画（全3時間）

- 第1時 「職員室の風景」の写真を見て時間との関係を分析する。
第2時 「ホノリルマラソン」の写真を見て地図との関係を分析する。
第3時 分析したことを文章化する。

ク 児童のワークシート



ケ 考察

同じ場所の複数の写真から時間帯を分析する活動から、複数の写真と地図をもとに場所を分析する活動へとスモールステップで学習することができた。その結果、写真から読み取れる事実だけでなく、写真を比較したり地図と関連付けたりしながら、根拠を明らかにした活発な議論ができた。

